

関連シンポジウム情報

第10回記念となる川崎郷土・市民劇は、川崎が生んだ大スター、坂本九さんを取り上げ、「あるくうた—九ちゃんに逢いたくって—」を、2026年5月に上演します。1941年（昭和16）12月、川崎で生まれ育った坂本九さんは、歌手、俳優として、タレントとして、そして司会者としても大活躍。1961年にリリースされた「上を向いて歩こう」は世界的にも大ヒット。日本を代表するエンターテイナーとして人気絶頂期の中、1985年、航空機の墜落事故に巻き込まれ、43歳の若さで不慮の最期を遂げました。

事故から41年。坂本九さんを題材とした市民劇の公演を前に、あらためて、坂本九という存在にスポットを当て、様々な観点から坂本九が生きた昭和と川崎のまちについて、そしてこれからについて語る場を設けたいと思います。

『演劇のまち・かわさき』の現在地とこれから
演劇よりどころ

アートコミュニティ交流会

公益財団法人 川崎市文化財団設立40周年記念事業

第10回記念川崎郷土・市民劇「あるくうた」シンポジウム特別企画

2026年 **2月6日 金** 18:30→20:30 開場 18:00

第一部 18:30→19:40 開場 18:00

演劇よりどころ車座トーク

「川崎の演劇・ミュージカルを語りつくす」

第二部 19:45→20:30 交流会 参加費：1,000円（飲み物・軽食付き）※当日現金精算のみ

会場 | ミューザ川崎シンフォニーホール 音楽工房市民交流室

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 4F

定員 | 先着100名

参加費 | 第一部：無料 / 第二部：1,000円（飲み物・軽食付き）※当日現金精算のみ

申込み | 申込締切：1月30日（金）

川崎市HP掲載の応募フォームから

（URL：<https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000183064.html>）

お問合せ | アートコミュニティ交流会のお問合せ：川崎市市民文化局 市民文化振興室（平日 8:30-17:00）

Tel：044-200-3170 / E-mail：25kw-art@city.kawasaki.jp

川崎郷土・市民劇のお問合せ：川崎郷土・市民劇上演実行委員会（平日 9:30-17:00）

Tel：044-272-7366 / E-mail：k.shimingeki@gmail.com

主催 | 演劇によるまちづくり・かわさき実行委員会

川崎郷土・市民劇上演実行委員会

川崎市

公益財団法人 川崎市文化財団

市HPはこちら



シンポジウム
イベントページ



撮影：関口淳吉



第10回記念 川崎郷土・市民劇

あるくうた—九ちゃんに逢いたくって—

川崎で坂本九に出会う 人生応援歌的演劇

【日程】2026年5月9日（土）・10日（日）

【会場】多摩市民館

【日程】2026年5月16日（土）・17日（日）

【会場】エポックなかはら

全日とも14:00開演

指定席：3,500円（前売券のみ）

一般（自由席）：3,000円

小学生～大学生・障がい者（自由席）：1,000円 ※当日は各300円増

※学生：来場時に生年月日のわかる身分証明書をご提示ください。

※障がい者：来場時に障害者手帳をご提示ください。

【お問合せ】 川崎郷土・市民劇上演実行委員会
（平日 9:30-17:00）

Tel：044-272-7366

E-mail：k.shimingeki@gmail.com

公演詳細は
こちら▶



ART FOR ALL
KAWASAKI



川崎市



市民劇関連シンポジウム情報



※詳細は上記イベントページよりご確認ください。

2026 **2/7日**
→ **3/29日**
9:00→17:00
月曜休館（祝日の場合は翌平日）

東海道かわさき宿交流館

写真展「九ちゃん 笑顔のふるさと」

東海道沿いにあり、東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流拠点となることをめざして整備された東海道かわさき宿交流館。その企画展示室において、川崎郷土・市民劇の開催にあわせて、川崎のまちで生まれ育った坂本九さんの写真展を開催。坂本九さんの思い出の写真から、その歩みを振り返ります。

【会 場】東海道かわさき宿交流館 3階企画展示室
主催 東海道かわさき宿交流館（川崎市文化財団グループ）
協力 坂本九音楽事務所 / アンクル・キュウ



東海道かわさき宿交流館外観

2/11水・祝
10:00→12:00

川崎郷土・市民劇上演実行委員会

「大西弘記が語る『あるくうた』」 【聞き手】関昭三さん

第10回記念の市民劇は、川崎市高津区在住、TOKYO ハンバーグ主宰の大西弘記さんの作・演出。その大西さんに、今回の作品「あるくうた〜九ちゃんに逢いたくて〜」に込める思いをお聴きします。

大西弘記（おにし・ひろき） 脚本家・演出家
TOKYO ハンバーグオフィス。社会問題を取り扱いながら、一筋の涙が零れるかどうかといった「心の栄養」をモットーにした、強い普遍性と現代リアルバランスを保つ丁寧な劇作・演出スタイルで舞台側と客席側を繋ぐ。



【会 場】エポックなからは7階第3会議室
主催 川崎郷土・市民劇上演実行委員会

2/26木
14:30→16:00

川崎市映像アーカイブ

川崎市映像アーカイブ上映会 ～洗足学園音楽大生による九ちゃんの楽曲ミニコンサートつき～

2024年、川崎市は市制100周年を迎えました。川崎で海苔が採れた？川崎にプロ野球チームがあった？公害対策から環境先進都市への歩み、アート・文化拠点の誕生…などなど、市制ニュース映画を中心に700本以上のお宝ショートフィルムの中から選りすぐりの映像を上映します。

【会 場】ミューザ川崎シンフォニーホール 音楽工房市民交流室
主催 川崎市市民文化振興室映像のまち推進担当
協力 川崎郷土・市民劇上演実行委員会
ノクチ基地 / 洗足学園音楽大学



申込みはこちら



上映映像イメージ

3/1日
9:30→12:00

東海道かわさき宿交流館

「ガイドと歩こう 九ちゃんのふるさと 東海道川崎宿ミニ散歩」

東海道かわさき宿交流館の特別企画展として開催される坂本九さん写真展の開催期間中、九さんゆかりのまちを歩いて、その足跡を辿ります。NPO 法人かわさき歴史ガイド協会の皆さんにご協力いただき、2021年12月に実施した、「ガイドと歩こう 九ちゃんのふるさと 東海道川崎宿ミニ散歩」をアップデートして実施します。

【会 場】東海道川崎宿周辺
主催 東海道かわさき宿交流館（川崎市文化財団グループ）
協力 NPO 法人かわさき歴史ガイド協会



坂本九歌碑

3/8日
10:00→12:00

川崎市アートセンター

映画「上を向いて歩こう」上映会

数々のヒット曲や名曲を世に送り出した坂本九。多くの映画にも出演し、特に映画「喜劇駅前団地」（1961）は高度経済成長期の川崎が舞台。歌手として俳優としても大活躍の傍ら、様々なテレビ番組にも出演。まさに日本を代表するスターとして日本のエンターテインメント界をリードしてきた存在でした。その足跡を振り返りつつ、あらためて、坂本九の残してきたものの意味を考えます。

【料 金】1,300円／学生1,000円（予定）
【会 場】川崎市アートセンター
主催 川崎市アートセンター（川崎市文化財団グループ）

「上を向いて歩こう」（1962年）
日活／カラー／シネスコ／92分
監督：舩田利雄／脚本：山田信夫
出演：坂本九、浜田光夫、
吉永小百合、高橋英樹



上を向いて歩こう © 日活

3/15日
10:30→12:00

川崎郷土・市民劇上演実行委員会

座談会「九ちゃんが育った川崎のまち」 【語り手】米山実さん 池田ハルミさん他 【聞き手】関昭三さん

川崎市で生まれ、現在の川崎市川崎区南町で育った坂本九さん。「九ちゃんが育った川崎のまち」では、川崎のまちで坂本九さんと交流があった皆さんにお集まりいただき、九さんにまつまる思い出話やエピソードをお聞きしながら、九さんの人柄やその足跡を偲びつつ、同時に当時の川崎のまちについても語っていただきます。

【参加費】無料
【会 場】東海道かわさき宿交流館4階集客室
主催 川崎郷土・市民劇上演実行委員会
共催 東海道かわさき宿交流館（川崎市文化財団グループ）
協力 川崎区役所 / 南町町内会（予定） 後援 川崎市



川崎小学校前

4/13月
10:00→11:30

ハナさんハウス

「ハナさんハウスで九ちゃんを歌おう」

川崎市で生まれ現在の川崎市川崎区南町で育った坂本九さん。「『ハナさんハウス』で九ちゃんを歌おう」では、川崎区渡田新町で高齢者を中心とした居場所づくりを展開中の「ハナさんハウス」とコラボして、町田市在住・アコーディオン漫謡の岩田百郎さんの演奏で、坂本九さんと一緒に遊んだ経験を持つ人のお話も交えながら、坂本九さんの楽曲を楽しみます。

【参加費】100円 ※申込み不要
【会 場】ハナさんハウス
川崎区渡田新町 2-5-1
主催 ハナさんハウス 共催 川崎郷土・市民劇上演実行委員会
協力 川崎区社会福祉協議会 / 「音楽のまち・かわさき」推進協議会



ハナさんハウス外観